

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)太平洋フカ平塚製作所新工場計画	階数	地上 3F
建設地	平塚市四之宮三丁目2727番1外6筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条・23条指定地区	平均居住人員	24 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年10月5日
敷地面積	2,892 m ²	作成者	(株)katachi ap
建築面積	1,771 m ²	確認日	
延床面積	2,387 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。	
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	空冷ヒートポンプエアコン及びLED照明設備を採用し、設備システムの高効率を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。
Q2 サービス性能	節水器具を使用し、水資源保護に努めている。耐用年数の長い材料を使用して資源の保護を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	再利用が可能なOAフロアを採用して資源の使用量を削減するよう努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される